

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3345		
科目名	英語プレゼンテーション 1		
担当教員	吉田 正法		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	木 2		
講義室	1311	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E 〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F 〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I 〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP6-K 〔表現力・対話力〕 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識・専門技能(25%) F2 課題解決(25%) I3 情報分析(25%) K2 オーラル・コミュニケーション(25%)		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	本授業は今後の危機管理の専門家に求められる国際的発信力を高めることを目的としています。内容としては、最新の国際情勢に対する資料等を活用し、国際社会が抱えている様々な課題を検討しながら、議論やプレゼンテーションに必要なとされる英語力の基盤を形成します。また、本授業は単に英語を教えるものではありません。英語を「いかに使うか」を学ぶことを目的としているため、ある程度の基礎力が必要となります。そして、受講者のプレゼンテーション能力を高める目的から、授業では受講生による英語での発表と質疑応答を重視し、その上で今後の情報発信に必要な表現等を紹介・解説していきます。授業形態は、演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（ライブ配信型）を取り入れます。 （キーワード） 情報発信力・表現力・グローバリゼーション		
授業の趣旨	■ 副題 英語による意見発信の基盤形成 ■ 授業の目的 国際社会で危機管理について発言する際には英語力が欠かせませんが、より具体的には①幅		

	広い知識を英語で持つこと、②語彙力、③それらを駆使して表現できる能力が必要になります。そこで、本授業では、各種社会問題の動向を踏まえつつ、様々な専門家による英語でのプレゼンテーションの現場で使用されている表現・語彙・振舞いの習得を目指しています。 ■授業のポイント 英語によるプレゼンテーションは日本で生活していると、余り触れる機会がありません。その結果、単に日本語のプレゼンテーションを英訳したものに止まってしまうケースや、方法が分からず戸惑っているケースが目立ちます。そこで、この授業では現代的な課題に関する質の高い英語のプレゼンテーションを手本にし、復唱を通じて必要な表現力や語彙力を身に付けていきます。その基盤の上で、「自ら英語での発表を行い、教員や他の学修者からの指摘を踏まえ、また改めて質の高い手本に触れる」というサイクルを繰り返します。そうした過程を経ることで、必要な能力が獲得できます。								
総合到達目標	本授業の到達目標は以下の三点である。第一に、国際的な問題への幅広い視野を身に付けること。第二に、英語によるプレゼンテーションの特性を理解し、講義・発表を通じて習得すること。第三に、グローバル化の中にあって確固たる発信力を身に付けることである。								
成績評価方法	■以下の方法で総合的に評価します。 「授業参加度」として、授業中の積極的な発言を重視します。また、「授業内発表報告」として、各自が2回英語によるプレゼンテーションを行います。 ■（適用ルーブリック-割合）E1-25%、F2-25%、I3-25%、K2-25% ■授業参加度(60%)、授業内発表報告2回(40%)適用ルーブリック E1、K2 （評価基準）発表では「授業で示したプレゼンテーションの基本を踏まえているのか」「内容の精度が高く、的確な語彙を用いているか」を重視します。 （フィードバック方法）授業内発表報告の際に、教員および他の学修者からの評価を伝えます。								
履修条件	履修登録前に事前のレベルチェックを研究室で行うため、受講希望者はガイダンスを受ける前に教員にメールで連絡をとること。								
履修上の注意点	国際的な事象について関心が強い学生の参加を求めます。授業においては議論や積極性を重視し、復習の程度を随時確認するため、受講生には自発性と勤勉性が必要となります。また、英語でのプレゼンテーション学習が主軸となるため、文法等の基本的な解説を求める学生には適さない内容となっています。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の内容や進行方法、扱うテーマ、受講生が目指す到達点、評価方法について説明を行う。(F1、F2) ③予習 (60分) この授業の毎回の予習としては、教員が事前に指定したテーマの内容および基本語彙を学んでおくことを求める。 ④復習 (60分) この授業の毎回の復習としては、講義で使用したプレゼンテーションの内容、表現、重要単語を整理し、それらを使いこなせるように反復することを求める。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ プレゼンテーションの基礎Ⅰ ②授業概要 「1.プレゼンテーションを行う上での姿勢・振舞い」、「2.数量データの表現手法としての各種グラフの紹介」、「3.英文参考文献の書き方・資料の表記」などの基本事項を解説する。併せて、プレゼンテーションの際の頻出表現、重要単語の紹介・解説も行う。(E1) ③予習 (60分) 日本語・英語を問わず、これまでプレゼンテーションの技法について大学で聞いてきた授業の内容を振り返り、基本的な事項を確認しておく。 ④復習 (60分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得する。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ プレゼンテーションの基礎Ⅱ ②授業概要 「1.インターネット上の情報についての判断」、「2.プレゼンテーションの類型化(列挙型、説得型、問題解決型など)」について解説する。併せてプレゼンテーションの際の頻出表現、重要単語の紹介・解説も行う。(E1) ③予習 (60分) </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の内容や進行方法、扱うテーマ、受講生が目指す到達点、評価方法について説明を行う。(F1、F2) ③予習 (60分) この授業の毎回の予習としては、教員が事前に指定したテーマの内容および基本語彙を学んでおくことを求める。 ④復習 (60分) この授業の毎回の復習としては、講義で使用したプレゼンテーションの内容、表現、重要単語を整理し、それらを使いこなせるように反復することを求める。	2	①授業テーマ プレゼンテーションの基礎Ⅰ ②授業概要 「1.プレゼンテーションを行う上での姿勢・振舞い」、「2.数量データの表現手法としての各種グラフの紹介」、「3.英文参考文献の書き方・資料の表記」などの基本事項を解説する。併せて、プレゼンテーションの際の頻出表現、重要単語の紹介・解説も行う。(E1) ③予習 (60分) 日本語・英語を問わず、これまでプレゼンテーションの技法について大学で聞いてきた授業の内容を振り返り、基本的な事項を確認しておく。 ④復習 (60分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得する。	3	①授業テーマ プレゼンテーションの基礎Ⅱ ②授業概要 「1.インターネット上の情報についての判断」、「2.プレゼンテーションの類型化(列挙型、説得型、問題解決型など)」について解説する。併せてプレゼンテーションの際の頻出表現、重要単語の紹介・解説も行う。(E1) ③予習 (60分)
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の内容や進行方法、扱うテーマ、受講生が目指す到達点、評価方法について説明を行う。(F1、F2) ③予習 (60分) この授業の毎回の予習としては、教員が事前に指定したテーマの内容および基本語彙を学んでおくことを求める。 ④復習 (60分) この授業の毎回の復習としては、講義で使用したプレゼンテーションの内容、表現、重要単語を整理し、それらを使いこなせるように反復することを求める。								
2	①授業テーマ プレゼンテーションの基礎Ⅰ ②授業概要 「1.プレゼンテーションを行う上での姿勢・振舞い」、「2.数量データの表現手法としての各種グラフの紹介」、「3.英文参考文献の書き方・資料の表記」などの基本事項を解説する。併せて、プレゼンテーションの際の頻出表現、重要単語の紹介・解説も行う。(E1) ③予習 (60分) 日本語・英語を問わず、これまでプレゼンテーションの技法について大学で聞いてきた授業の内容を振り返り、基本的な事項を確認しておく。 ④復習 (60分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得する。								
3	①授業テーマ プレゼンテーションの基礎Ⅱ ②授業概要 「1.インターネット上の情報についての判断」、「2.プレゼンテーションの類型化(列挙型、説得型、問題解決型など)」について解説する。併せてプレゼンテーションの際の頻出表現、重要単語の紹介・解説も行う。(E1) ③予習 (60分)								

	研究上のネットリテラシーについて、何に注意しなければならないかを確認する。 ④復習 (60分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得する。
4	①授業テーマ 日本語でのプレゼンテーションの実践 ②授業概要 これまで授業で紹介してきた内容を踏まえ、自ら検討したいテーマについてのプレゼンテーションを各自が日本語で行ってみる。フィードバックとして教員が評価する。 (F1、F2) ③予習 (120分) 自らが行う日本語でのプレゼンテーションの準備を進める。 ④復習 (120分) 教員及び他の学修者からの評価を踏まえ、自らが行った発表の課題を整理し、以降の授業では常に意識すること。
5	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 それぞれの分野で注目を集めている著名人、政治家、アーティストなどによる英語のプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。 (E1、K2) ③予習 (60分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (60分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
6	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 それぞれの分野で注目を集めている著名人、政治家、アーティストなどによる英語のプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。 (E1、K2) ③予習 (60分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (60分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
7	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 それぞれの分野で注目を集めている著名人、政治家、アーティストなどによる英語のプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。 (E1、K2) ③予習 (60分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (60分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
8	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 アメリカ社会が抱える貧困、差別、テロ対策、政治などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。 (E1、K2) ③予習 (60分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (60分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
9	①授業テーマ プレゼンテーションの実践 I ②授業概要 これまで授業で紹介してきた内容を踏まえ、自ら検討したいテーマについてのプレゼンテーションを各自が行う。発表後に質疑応答を行い、フィードバックとして教員および他の学修者が評価する。(F1、F2)

	③予習 (120分) 自らが行うプレゼンテーションの準備を進める。 ④復習 (120分) 教員および他の学修者からの評価を踏まえ、自らが行った発表の課題を整理し、以降の授業では常に意識すること。
10	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 アメリカ社会が抱える貧困、差別、テロ対策、政治などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。 (E1、K2) ③予習 (60分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (60分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
11	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 アメリカ社会が抱える貧困、差別、テロ対策、政治などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。 (E1、K2) ③予習 (60分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (60分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
12	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 アメリカ社会が抱える貧困、差別、テロ対策、政治などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。 (E1、K2) ③予習 (60分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (60分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
13	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 アメリカ社会が抱える貧困、差別、テロ対策、政治などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。 (E1、K2) ③予習 (60分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (60分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
14	①授業テーマ プレゼンテーションの実践Ⅱ ②授業概要 これまで授業で紹介してきた内容を踏まえ、自ら検討したいテーマについてのプレゼンテーションを各自(前半)が行う。発表後に質疑応答を行い、フィードバックとして教員及び他の学修者が評価する。(F1、F2) ③予習 (120分) 自らが行うプレゼンテーションの準備を進める。 ④復習 (120分) 教員及び他の学修者からの評価を踏まえ、自らの発表の課題を整理する。
15	①授業テーマ プレゼンテーションの実践Ⅱ ②授業概要 これまで授業で紹介してきた内容を踏まえ、自ら検討したいテーマについてのプレゼンテーションを各自(後半)が行う。発表後に質疑応答を行い、フィードバックとして教

	員および他の学修者が評価する。(F1、F2) ③予習 (120分) 自らが行うプレゼンテーションの準備を進める。 ④復習 (120分) 教員および他の学修者からの評価を踏まえ、自らの発表の課題を整理する。
関連科目	英語プレゼンテーション2 (RMGT 3346)
教科書	特に定めない。
参考書・参考URL	特に定めない。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜日 3時限(13:00~14:30) それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントメントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	すべて100%

